

# 静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目12番4号  
(タウンコート常磐町1F)

TEL.054-252-2418

FAX.054-252-2430

発行人 松浦 源

## 松浦理事長が 黄綬褒章を受章



松松浦理事長は、11月2日(土)静岡新聞及びそのほかの報道機関により黄綬褒章を受章されることが発表されました。

これに伴う褒章伝達式及び天皇陛下への拝謁は12月17日(火)に東京の厚生労働省で伝達式が行われ、皇居宮殿(豊明殿)において陛下に拝謁します。

また、松浦理事長は昨年の秋に「卓越した技能者」(現代の名工)として厚生労働大臣表彰を受章されており2年続けての栄誉となります。

松浦理事長は建築板金工として永年培った優秀な知識・技能を有しており、特に伝統的な技能を中心に様々な技能に優れていると認められたものです。

受章おめでとうございます。なお、黄綬褒章の伝達式および陛下への拝謁終了後の1月号で、松浦理

事長の喜びの声などをお伝えしたいと存じます。

## 牧野久男氏に 静岡県優秀技能者賞



牧野久男氏(小笠支部)

は、11月25日(月)県庁西館「第1会議室」で開催された静岡県職業能力開発促進大会において、優れた技能をもって産業界の発展に寄与すると共に技能者の育成等に果たした功績により今年度の静岡県優秀技能者として、静岡県知事の功労表彰を受賞されました。

牧野氏は、およそ59年余りにわたり建築板金業に従事しているが、伝統的な銅板一文字葺工法、銅板細工に優れ、これらの工法に関する新技術の普及や技術開発に熱心であり、次々と開発される新技術を積極的に取り入れながら自らも新技術開発を進めるとともに、新技術を自ら実践し、その製品の経済効果を認めるや、東奔西走しながら青

年層を通じて地区内外にその内容を発信し、新技術の普及に努めた。

また、牧野氏は、自ら新製品を開発するまでには至らなかったが牧野氏によって中東遠から西部地区を中心に県下全域に掛け、新技術による恩恵を多くの板金業者が享受する結果となった。

さらに牧野氏は、青年層に対して、伝統的な銅板一文字葺工法を積極的に指導すると共に地区の技能検定受験者に対する技術指導を行いながら銅板細工の面白さや技術を自社の工場で伝承している。また、地域住民の建築板金に対する意識を高めるため、ものづくりマスタとしてものづくり体験学習やWAZAZAチャレンジ教室などの講師を積極的に務める他、技術専門校のテクノフェア等に参加して地域住民に建築板金の重要さや面白さを伝承している。

## 牧野氏から受賞の喜びが次のように寄せられました。

この度の県知事受賞は私にとりまして身に余る光栄と存じます。

また、表彰式には理事長及び副理事長、関係者のご臨席を賜りますと

もに身に余る祝福をいただき厚くお礼申し上げます。

先輩方が数多くおられる中、私のような若輩が名誉ある知事表彰を受けられたことは、ひとえに諸先輩方及び皆様方のご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げますととも

に改めて厚くお礼申し上げます。また、この受賞を機に静岡県板金工業組合並びに板金業界発展のため、より一層、誠心誠意努力する所存でありますので、組合員の皆様方におかれましては今後共、引き続き、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この度は誠にありがとうございました。

## 全技連会長表彰 の受賞

元常任理事 青木 進氏

技能振興に顕著な功績のあった功労者に贈られる全国技能士連合会会長表彰は元県板常任理事である青木進氏(清水支部)が受賞の荣誉に輝かれました。

青木進氏は、11月1日(金)に東京都千代田区九段北「アルカディア市ヶ谷」で行われた表彰式

に他の受賞者と共に全国技能士大会に出席し表彰状並びに記念品が授与されました。

## 静岡県技能士会 連合会表彰式

令和元年度静岡県技能士連合会の表彰式が11月21日(木)「清水マリナー」で行われ、本県板からは優秀技能士表彰の受賞者のほか、全副理事長も出席して各賞受賞者の荣誉を称えた。

## 優秀技能士表彰 の受賞

稲葉栄次郎氏(伊豆)

長谷川敏男氏(小笠)

技能士として極めて優れた技能を有し、他の技能士の模範となる者に贈られる、令和元年度静岡県優秀技能士に静岡県板からは、稲葉栄次郎氏(伊豆支部)及び長谷川敏男氏(小笠支部)の2名が受賞の荣誉に輝かれました。



鉄板用ビスの御用は  
ドリルビス・コースレッド・ALCドライブ・ルーフボルト・各種  
お客様のニーズにお応えします

**株式会社 静岡ねじ**

静岡市駿河区中吉田13番6号  
電話 054-263-8756 FAX 054-263-8783

長尺板金成型加工・屋根・壁  
各種建築資材販売・建築板金機械工具  
電動工具・エアークラップ販売  
住まい造りのおてつだい

**萩原スチール株式会社**

\*お気軽にお問合せ下さい\*

本社 焼津市焼津1-5-6(焼津郵便局前)  
TEL 054-627-0138  
板金加工センター(アステラス製薬南側)  
TEL 054-629-4700

製品保証、標準色 オーダー色

**15年 3+6色**

定尺横葺 UMルーフ1(ONE)

**株式会社 植松**

沼津市西沢田200-1 TEL:055-922-1555

\*1...15年保証は標準色のみとなります。

# 静岡県 技能競技大会 の開催



が入賞者となった。  
～入賞者の表彰～

11月21日(木)、静岡県技能競技大会の表彰式が「清水テルサ」で行われ、静岡県板からは、次の方が受賞された。

- Aコース  
最優秀賞 原田敏希(静岡)  
優秀賞 井出 匠(清水)  
優良賞 箱島宏紀(静岡)  
努力賞 池ヶ谷孝二(清水)  
努力賞 齊藤隆一(清水)
- Bコース  
最優秀賞 林 真太郎(清水)  
優秀賞 山下領一(中遠)



## ものづくり体験 学習指導

県板事務局

令和元年度県技能競技大会・建築板金部門は、9月29日(日)にポリテクセンター静岡で開催され、Aコース5名、Bコース3名が出場して課題作品(A ちりとり、B トロフィー)の完成に向け、全力を集中して取り組んだ。

出場者に対しては、8月25日(日)に事前講習会が行われ、講師の熱心な指導により、本大会では参加者全員が所定の時間内に作品を仕上げることが努力した。

終了後、競技審査員による厳正な審査が行われ、規定の得点に達した選手

等の児童・生徒に対するものづくり体験学習を実施し本格化しています。

この事業は、各技能士会に所属するマイスターに対して依頼されるもので、各技能士会では本業と、この派遣事業を大変な努力と犠牲を払って実施しているのが実情です。

この他にも、県ものづくりフェスタや各訓練校の技能祭、各地区のものづくりイベントへの参加等めまぐるしく出展、指導の機会が連続的に展開されていきます。

元より美しい輝きを放つ銅板細工は人気があり、児童・生徒からの要望も多く寄せられています。現在は、理事長始め23人のマイスターがこの事業を担当しており、東部地区及び中部地区はマイスターが充足していますが、西部地区のマイスター数は6名でやや不足気味です。

これらに対応するため、昨年度、東・中部地区の現員数を2名追加認定して、17名体制で今後、伊豆地区や志太・榛原地区にまで順次拡大していくと見込まれる体験学習の実情に対応することといたしました。

格化していますが、今年度は、現在のところ実施個所は昨年度の12か所に比べ、やや減少して8か所となっています。これに魅力講座を含めますと延べ16か所にもなります。

また、来年度はそろそろ予想通り全県規模で事業展開を図っていくこととなるようです。

## 清水技術専門校 技能祭(テクノフェア) に参加して

清水支部長 林 孝之

今年もあと1月あまり。11月24日(日)、晩秋だというのに暖かなこの日、清水区桶の清水技術専門校(テクノカレッジ)で技能祭(テクノフェア)が開催されました。

各技能士会のブースが立ち並ぶ中、午前10時の開会式を合図に多くの子供連れの家族が集まり、盛況のうちに時が過ぎていきました。

我が建築板金のブースもパケツ、塵取りなどの販売や銅板ヘラ出し体験に、大勢のお客さんに来ていただきました。

特に銅板ヘラ出しでは小さなお子さんが挑戦して出来上がった自分の作品に満足して喜ぶ姿が印象的でした。

松浦理事長にもおいでいただき、清水支部の役員4名とともに技能祭を

## WAZAチャレンジ教室の結果

技術検定委員会

令和元年度のWAZAチャレンジ教室は11月7日の御殿場市立原里中学校を最後に無事終了した。県下13校で実施され205名の児童・生徒が参加、派遣された指導員は延べ58名となり、各校の生徒からは、指導員に対して例年、感謝の手紙が届けられています。

また、昨年度は県職業能力開発課からの要請もあり、臨時的に商業施設におけるWAZAチャレンジ教室として7月29日に「松坂屋静岡店」で、12月16日に「カインズホーム吉田店」で児童70名を対象に実施した結果、最終的には310名を超え

る児童生徒に対して教室を実施した結果となった。今年度は昨年同様、県からの要請に基づき、令和2年2月には商業施設におけるWAZAチャレンジ教室として、「吉田町のカインズホーム」及び「静岡松坂屋」で実施予定である計70名程度を加えると、最終的には27

盛り上げました。  
ご参加いただいた皆様  
お疲れ様でした。

0名を上回ることもなる見込みです。

結果として、参加技能士も70名に近づくこととなる見込みです。

昨年度、学校で実施した生徒の感想として、「僕は初めて銅板ヘラ出しをやりました。銅板ヘラ出しはとても力が必要で手が疲れましたが、技能士さんが丁寧に教えてくれたおかげで、綺麗に作る事ができました。また、銅板ヘラ出しを始めたきっかけが、障害者が取り組めるものづくりであると聞いて、とても素晴らしいと思いました。」

また、銅板ヘラ出しを始めたきっかけが、障害者が取り組めるものづくりであると聞いて、とても素晴らしいと思いました。また体験したいと思っています。「銅板ヘラ出し自体を知らなかったのですが、初体験でしたが、楽しみながらも真剣に取り組むことができました。初めての経験なのでどんなものになるかわかりませんでした。講師の技能士の方にとっても丁寧に優しく教えてもらいました。おかげで満足できる作品がで

ました。また、銅板ヘラ出しに挑戦したいです。ありがとうございます。」

## WAZA チャレンジ教室 に参加して

静岡大学教育学部  
附属特別支援学校

理事兼静岡支部長

山本泰義

9月27日(金) 午前9時よりWAZAチャレンジ教室が静岡大学教育学部附属特別支援学校にて開催されました。

事前に先生との打ち合わせがあり、学校の「しおり」をいただき、日頃の先生方の生徒への愛情

**日新製鋼**  
日鉄住金鋼板株式会社  
株式会社 釜慶マクサプライ  
〒435-0041 静岡県浜松市東区北島町757  
TEL 053-423-0007  
FAX 053-423-0010

を感じつつ指導できたことは大変良かったと思います。

最初に指導員を代表して山本支部長が挨拶をし、指導員が自己紹介を行った後、進行要領に基づき17名の生徒を2クラスに分け、指導員が3名ずつ付いて6名で指導しました。

課題の「ツバキ」の他、数種類の図柄から、それぞれ、好きな図柄を選び、説明をしてから作業を進めました。

細かい図柄もあり、最初は少し心配でしたが、細かい部分も最後まで懸命に取り組む姿は、永い間指導に当たっています。見たことがなく感動しました。

素晴らしかったと思います。

出来上がった力作を我々指導員が磨き、ぴかぴかになった銅板画を何度も嬉しそうに見ている姿や生徒からのお礼の言葉に癒されました。

後日、指導員の一人が鶴を作り、ケースに入れて生徒全員分を学校に届けました。

裾野市立東中学校及び

御殿場市立原里中学校

御殿場支部 杉山元良

10月16日(木)裾野市立

東中学校、11月7日(木)御殿場市立原里中学校において令和元年度のWAZAチャレンジ教室が開催されました。

各中学校との打ち合わせ、会場や教室の確認、指導員との手順・進行の確認も済み、両校との打ち合わせも順調に進んで予定通りの開催となりました。

裾野市立東中学校



今年度の課題である「ツバキ」を一生懸命に取り組む生徒の皆さんの作品の出来映えに指導員も担当の先生も、時間の制約がある中で、これだけの

成果品が出来ることに感心しました。

今回の各中学校の生徒の皆さんからは銅板ヘラ出し作業に当たり、両校のWAZAチャレンジ教室に取り組む真剣な態度が良く感じられました。

このWAZAチャレンジ教室で少しでも、ものづくりの楽しさが、伝われば良いと思います。

沼津市立今沢中学校

三島支部 大川雅義

三島支部は10月18日(金)13時から沼津市立今沢中学校、10月24日(木)午前9時から裾野市立西中学校において今年度のWAZAチャレンジ教室を開催しました。

参加生徒は今沢中学校が11名、裾野西中学校が17名に対し、各校とも、指導員4名、課題は「ツバキ」で実施しました。

生徒は初めての作業で、指が痛いと言いながらも一生懸命取り組んでくれました。

途中で、休憩時間を取りましたが、休憩せずに作業に集中する生徒の姿がありました。

両校とも中学生ということもあり、既定の時間より早く作業を完了しました。そして完成した自分の

作品を手にものづくりの達成感を各々感じていたようでした。

ご多忙の中、ご協力くださいました支部員の皆さまありがとうございます。

ものづくりフェスタ2019 inしずおか

中部地区長 北村 弘



9月21日の土曜日、県は、昨年に引き続き、ものづくりの楽しさ、技能の素晴らしさ、大切さを県民にアピールしながら、技能士を尊重する社会づくりと、ものづくりマイ

スター制度の普及・活動を推進するため、静岡市「ツインメッセ静岡南館」において「ものづくりフェスタ2019 inしずおか」を開催しました。

板金工業組合は、中部地区を中心に組合員の参加を呼びかけた結果、事務局を含め15名が参加しました。

県中部地区を中心に県下のものづくりの名工の制作した素晴らしい展示品や干支などの即売品、なじみの深い塵取り、バケツなどの即売も行い会場入り口のすぐ左側に用意された県板ブースは大変な賑わいを見せました。

昨年同様、県が、各種団体を通じて、中部地域の小中学校の児童・生徒に「マイスター」に学べという一大キャンペーンを張った成果もあって多くの参加者で会場は一杯になり、銅板ヘラ出し、銅板筋彫り体験などの作業に170名以上の子供たちが参加し、一生懸命に取り組んでいました。

今年度は昨年同様の広さでブースも用意いただき、難しい表札の製作作業をやめ、やや簡単な銅板筋彫りを多くするなど工夫をし、材料も若干多めに用意しました。

昨年同様、子供さんには大いに楽しんでいただけたと思います。

また、今年は折鶴の展示コーナーを設け、子供さんに見本を差し上げたりしました。

応援いただいた理事長はじめ、中部地区スタッフの皆様ありがとうございました。

安全パトロールの実施

厚生労働委員会

令和元年度団体安全パトロールが各地区で実施された。

東部10月10日、中部10月10日、西部(浜松・西遠地区)10月21日及び西部(小笠・中遠地区)10月26日にそれぞれ実施され、全5地区29名の参加者により19箇所工事現場で安全項目についてチェックを行った。

今年度の指導件数は、「足場組立作業責任者の掲示、保護帽の着用、安全帯の着用、高所作業における墜落防止、移動はしごのすべり止め、消火器・灰皿の設置及び整理・整頓他、」などについて、71件が指導対象となった。特に東部地区のパトロールには、沼津労働基準

監督署の労働基準監督官に御殿場地区パトロールへのご同行をお願いし、専門的見地からの指導を行っていただいた。

現場安全パトロールの実施結果



今年度の現場安全パトロールは例年同様県下4地区で実施され労働基準監督官他が参加して現場を調査指導した。

東部地区(御殿場地区)	10月10日	8名参加	5現場
中部地区(焼津地区)	10月10日	11名参加	8現場
西部地区(西遠・浜松地区)	10月21日	5名参加	4現場
西部地区(小笠・中遠地区)	10月26日	4名参加	2現場
計	4地区	29名参加	19現場

### 第8回全板静岡大会推進会議検討事項

令和元年10月24日開催

- 高知大会のPR用観光パンフレット2,600部は静岡市駿河観光局にて負担。郵送料は県板が負担した。(全板連の小林事務局長との話の中で、配布部数を下方修正する必要があるとされていたが、結果として観光パンフレットの必要数を2,600部に修正し送付した。)
- 参加者への土産  
高知県の土産を見てから判断する。「うちわ」など今後検討するとなっていたが、土産は無いことで決定。
- のぼり旗及び横断幕  
のぼり旗は宮城・高知の事前PRを参考に50本及び横断幕1枚とする。県広告美術協同組合技能士会から見積を徴して準備委員会に諮ったところ、のぼり旗50枚、ポール50本、横断幕1種類(宮城方式7.5m)で決定し既に作成済みであり、高知県でのPR活動に使用した。
- 参加人員見込み(組合員、従業員等参加人員を300名と見込み、内、女性30名程度とする。)  
また、協力店及びメーカーからの支援参加を50名程度と見込み総勢350名程度とする。
- ブルゾンコートは上記を踏まえて350着、準備委員会において準備する。(L200着、LL150着を準備したのち全組合員に配布し、高知県大会で使用した。)
- 記念モニュメントは折鶴による富士山と決定した。折鶴は青年部が中心となって見本づくりなどを行い各支部に折鶴の見本を配り各地区300個を作成することとし10月26日以降に各地区に材料の銅板900枚を配布して各支部において現在作成中である。(銅1羽3羽、アルミ「500ミリリットル缶」1羽1羽)アルミ材料についても調達・配布した。現在、鶴は数量的にはそろっているが、やり直している支部も有る模様。
- 協力店・メーカーへの支援要請  
いくつかのメーカーから具体的な支援要請をお願いしたいとの要請があったが、県板負担分の記念誌の発行に対する10万円程度の広告料をお願いする方向で松浦理事長から協力店及びメーカーに説明し協力を要請した結果、この報告で了承された。今後、広告依頼文を携えて協力依頼活動を展開する。9月24日に急遽、説明会を開催し、協力店・メーカーにお願いした結果、原案通り支援要請することとなった。具体的には12月上旬から中旬にかけて理事長及び地区長などが各店を訪ねて協力を依頼する予定。
- 県産品用物販ブースは5ブースに決定  
何を出店するかについては、厚生労働委員会が主体となって決めてゆく予定。9月中旬に全板連から5ブース、設置費は1ブース(3m×3m)を5万円とする旨、連絡あり。結果として、県板が4万円を負担し、出店者からは1万円を徴収することで決定した。

- 静岡商工中金からの補助金繋ぎ融資  
平成30年10月上旬に静岡商工中金に対して2020年の全板静岡大会への融資について相談した。(組合定款、28~30年度の総代会議事録、議案書、各県大会記念誌の表紙を提出。)  
その他、静岡大会実施計画、市役所の後援金義使用許可書の写、組合員名簿、大会収支予算書、補助金内訳書を提出し、全体の経費は18,000千円掛かるなどと説明。補助金が入金されるまでの繋ぎ融資を依頼した。  
平成30年10月25日に商工中金から融資する方向であるとの連絡があった。令和2年に入ってから事務的に進める。
- ミス静岡及び救急対応のための看護師の確保、経費及び内容については県板事務局において調査後、「するが観光企画局」に相談することとしている。  
看護師については既に確保済み、ミス静岡については現在不在なので、イベントアテンドなどを調査中
- ポスター及び大会記念誌については(株)チヨダに発注し、各種サイズ計1,100枚を各県に配布した。大会記念誌は最大3,800冊を予定。  
ポスターの後援承認については10機関から承認された。(7月19日、全国・県内各支部に向け、発送済み(評判が良い))
- 前夜祭のアトラクションについては、マグロの解体ショー、きき酒のコーナー設置など、センチュリー—ホテル静岡に問い合わせしていたがマグロの解体ショーは800,000円、利き酒コーナーは1瓶1本11,000円から22,000円との連絡があったので、値段が下がるかどうか現在交渉している。
- バスの駐車場については、約200台分を確保する方向でツインメッセの担当と共に努力している。  
(清水港日の出埠頭70台、IA1スタジアム80台、グランシップ駐車場30台、草薙総合運動場30台、日本平ホテル30台他)この内、日の出埠頭とグランシップについては内々確保済み。IA1スタジアム及び草薙総合運動場は令和2年1月に使用できるかどうか決定する。
- 県産品等の出店意向が有るかどうかが各支部を通じて調査すべきとの意見があり、7月30日付けの文書を作成し、出店意向調査を支部長宛依頼した。現在数か所から問い合わせが来ている。  
このことについては8月30日の三役会議に報告した。  
県産品等販売ブースについては厚生労働委員会にて調整中。
- 全板連から前夜祭及び大会当日の実施体制について体制図を作成してそれぞれのセクションを統制しながら対応するよう指示があり、実施体制図の基礎を作成した。  
今後、細部について検討し、第9回推進会議に諮っていくこととなった。  
なお、体制図に基づき12月12日(木)ツインメッセ及びホテルセンチュリーで全板連と打ち合わせを行う。

### 令和元年度 県板主要事業計画 (12月以降)

月日	行事	会場	備考
12.4(水)	中板協第3回常任理事会	福井駅前アオッサ 13:10~	理事長他
12.12(木)	全板静岡大会全板連との打合せ	ツインメッセ他 10:00~	理事長他
12.18(水)	国による防災事務組合調査	組合事務局 9:00~	事務局
1.24(金)	全板静岡大会第10回推進会議 第6回常任理事会	静岡労政会館 13:30~ (予定)	三役、常任他
2.22(土) ~2.23(日)	全国建築板金競技大会	富士教育訓練センター	大会出場者 2名
2.23(日)	浜松技術専門学校技能祭	浜松技術専門学校 10:00~	西部地区担当
3.1(日)	沼津技術専門学校技能祭	沼津技術専門学校 10:00~	東部地区担当
3.6(金)	第11回全板静岡大会推進会議 第7回常任理事会・協力店会	クーポール会館 13:00~ (予定)	三役、常任他

<注>・全板静岡大会推進会議、常任理事会等の会議は必要に応じて適宜開催。  
・3月6日の協力店会は9月24日に協力店への全板静岡大会への支援要請として開催しているの、静岡大会の準備状況に応じて開催するものとする。  
・各技術専門学校の技能祭は清水校が11月24日に実施済み、浜松校は2月23日(日)、沼津校は3月1日(日)に実施見込み。

### 技能検定試験合格発表

#### 技能検定委員会

令和元年度技能検定試験は、6月1日、6月2日の実技講習会を経て、7月23日にポリテクセンター静岡で実技試験が実施され、1級17名、2級2名が受験し、県板の講習会や地域での指導を受けた受験者は、実技試験に懸命に取組んだ。  
また、学科については、8月21日・22日に静岡労政会館で講習会が行われ、8名が受講して9月8日の試験に臨んだ結果、10月4日には合格者の発表があり1級17名中、2名が、2級2名中、1名の計3名が合格という結果となった。  
今年度は、参加者も昨年度(計26名)に比べて減少して計19名となり合格者も計3名となって昨年(計17名)に比べ大幅に減少し、残念な結果となった。  
合格者が減少した原因については、測定精度の向上や変更などが推定されるが、来年度は、講習会での技術習得度を高めるなど1級、2級とも合格者が増加し、多くの技能士が誕生して建築板金業界が益々繁栄していくことを願ってやまない。



欲しい物がここにある

さまざまなニーズにお応えします

## 西川鋼販株式会社

鉄鋼二次製品 卸・加工

本社/〒437-1302 掛川市大淵9617  
TEL 0537-48-3828(代) FAX 0537-48-2644  
ホームページアドレス <http://www.nishikawakouhan.com/>

事業者様向けの会員制カタログ・インターネット通販  
会員登録料無料・年会費無料 ご注文は24時間MAIL・FAX受付

エスコ便利カタログ(工具・機器・部品・消耗品・備品)代理店  
ファーストリフォーム(施工のプロのための住宅建材)代理店

### 新製品 高級鋼板製リブ波

エバーライン® プリント405(三角リブ波タイプ)

製品形状・製品カラーについては、当社までお問い合わせ下さい。

屋根に穴をあけない 屋根・外壁見積積算ソフト  
ソーラーパネル取付金具 板金王® 瓦王® 外壁王®  
PVロック® レンタル契約 ¥6,000(税抜)/月額

お求めは静岡県特約販売店10社へ

総発売元 西川鋼販株式会社

詳しくは当社ホームページでご確認ください。

### 鋼板製ルーフ&サイディング材の製造・販売



www.koike-s.jp



株式会社 小池弥太郎商店

〒420-0922 静岡市葵区流通センター16番  
本社・静岡工場/東京事務所/藤枝支店/牧之原工場  
TEL:054-263-2280 FAX:054-263-6163

金属定尺横巻屋根

「S&Sルーフ」 Simple and Safety

自由な施工性

「葺き方向」&「重ね代」を自由に決められるため、腐材の削減につながります!

株式会社 セキノ興産

浜松店 ☎(053)440-3940  
富士店 ☎(054)37-0716

KMEW

はる一番に待望のレンガ柄登場!

外観に華やかとしたレンガの装いを、風格を演出する、存在感のあるデザインです。3色塗装により、とっしりとしたレンガの質感を表現。アパートなどの非住宅にもおすすめです。

金網サイディング デザインシリーズⅡ

はる一番 煉石柄Ⅲ

ケイミー株式会社 静岡営業所 〒420-0817 静岡市長区東神宮1丁目2番14号 TEL:054-261-0336